

教育機関向けプリンティングソリューションサービス

StudyOne 「Study One」

2022年6月から実証開始!

「Study One」のメリット

塾の先生の3つのメリット

「Study One」における先生や塾の先生のメリットは、ひとことで言うと『労働生産性を上げながら家庭学習をマネタイズ（事業の収益化）できる』ことである。

◆経済合理性

塾が家庭学習をオンライン指導することで売上アップにつながる。家庭のプリンターを使用するため、塾で出力していたプリント代をコストカットできる。

◆労働生産性

LMSで課題プリントの管理が可能であるため、プリントの配布・回収の時間を削減。空いた時間で指導を効果的に行うことができる。

◆安全管理

なんらかの事情で通うのが難しい場合でも演習指導を行うことができる。遠方の生徒に対してもいつもと変わらない指導を受けてもらうことができる。

生徒（ご家庭）の3つのメリット

「Study One」における生徒（ご家庭）のメリットは、『子ども部屋が塾とつながり、家庭学習の成果があがる』ことである。

◆演習量増加

宿題や課題など必要なプリントが目の前で出力されるため、子どもたちが迷わず学習にとりかかることができる。

◆家庭学習の管理

LMSにより生徒一人ひとりの進捗が「見える化」され、子どもの家庭学習の様子を親が確認できる。

◆紙に書くことの効果

長期記憶において「紙に書くこと」が重要。途中過程も見てもらえるので、学習の質が上がる。

信するサービスをサブスクリプション（定額料金を支払い利用する）で提供していくというものだ。

本サービスを使っていく上で、仕組みとして必要になるのが「LMS（学習管理機能）」「ラーニングマネジメントシステム」。このLMSを動かすためには、エデュテインの「ワンパス」を利用する。「ワンパス」はID・PW（パスワード）をひとつにまとめるだけでなく、塾のオリジナルマイページの作成、LMS等も兼ね備えた無料で利用できるシステムである。

「送信・返送されるプリントの識別についてですが、プリントを印刷するときにQRコードを刷り込むのです。QRの中にプリントを識別するための情報が入っており、我々のLMSと連携しています。この技術

と運用プランを持っているエブソンさんと協働開発をして、準備だけで1年かけて濃密に進めてまいりました」

【教材】は、スタディラボのパートナーシップ企業である教育開発出版（株）にご協力いただき「eトレ」を実証用のプリントとして使う仕組みを進めている。

「『Study One』の実証が少しずつ始まっていきますので、ご活用の方はどうだろうか、など、活用事例などの広告を通じて、引き続き皆様に有益な情報をお伝えできたらと思っています。」

「Study One」には大きな可能性を感じています。究極的にはやりとりはすべて

今後の展望

て遠隔でできてしまうということを基本に、いろいろな講座もつくれますし、定期テスト対策、過去問の指導など、多方面の分野に波及効果があると思います。

初年度の実証期につきましては、お一人様月額2000円（台前半くらい）から提供していただければと思っています。

現在、スタディラボがエブソンさんとやり取りをしているのですが、パートナーシップ企業の（株）SRJや教育開発出版（株）などいろいろな方々と情報共有しています。塾様が前提ですが、教育機関で使えそうなことやこの仕組みを使って新しいビジネスを創出し、OEMでも提供を考えています。

この取り組みが面白いと思われる塾様があれば、ぜひ実証導入のお問い合わせをお待ちしております」



先生がどこにいてもPCでワンパスを立ち上げる。その中に生徒たちに印刷をするボタンがあるので、〇〇教室の〇〇学年の〇〇さんにこのプリントを送るということで指示を出すと、その生徒の家庭にあるプリンターから必要な時間に出力することが可能。子どもたちは家庭でプリント学習し、プリンターでスキャンすれば自動的に回収される。プリンターは、プライバシー情報などの蓄積が残らない形で管理されており、保護者もLMS上からきちんと運用がされているのかを確認できる。



「教育×オンラインで明日を変える」をコンセプトに、株式会社スタディラボ（地福武史代表取締役）とセイコーエブソン株式会社（小川恭範代表取締役社長、以下エブソン）が、紙を利用した新しい学習スタイルのサービスを共同で構築。

2022年6月から本サービスの実証を開始する。サービスの内容や特長、今後の展開について地福代表に伺った。

2019年度から始まったGIGAスクール構想により、1人に1台情報端末の体制が整備され、教育のICT化が進められている。教育現場では、アナログをデジタルに置き換え、業務改善や効率化が図られていくが、重要なのは目指す学習のあり方や目指す校務のあり方に向けて、ICTを活用することである。今回、スタディラボ

家と塾を、紙でつなげる「Study One」
デジタルと紙の融合で家庭学習をアップデート！

ポとエブソンの協業により実現した「Study One」は「家と塾を、紙でつなげる」サービスとして多方面から注目されている。

「子ども部屋を将来的にはDX化したいという発想は、家庭学習の大切さに注目し、学力は家庭で育つ」という考えから始まっています。紙に書いて学習することは長期記憶に良い効果を生むと考えられています。そのためiPadやタブレットのように子ども一人にプリンターも1台あればいいのではないかと考えました。また、学校や塾などの教育現場では多量の印刷に時間と手間を費やしています。印刷に関連するコストも膨大で、これらのコストカットにもつながるのではないかと考えています」と地福武史代表取締役は話す。

「従来、プリントや資料などの紙を子どもに持って行かせたり、回収したり、郵送したりという方法論がありました。『Study One』は、学習塾側がデジタルを駆使し、生徒の家庭にあるプリンターに、学習プリントなどを個人別に送信。生徒は解答したプリントをプリンターのスキャナー機能を使ってスキャンし返送します。講師は、生徒から返送された解答を採点し、生徒に再送信。生徒は間違った箇所を確認し、学習を積み重ねていく仕組みです」

サービス概要

「Study One」のサービスの中身は3つに分かれる。「テレスタディコネクト」により、家庭にあるプリンターに教材を配

「Study One」のお問い合わせ

株式会社スタディラボ
スタディワン事務局
TEL.03-6902-1151
study_one@studylab.co.jp

